

# 交通安全

## 高速道路の安全・安心を、最優先に

### 24時間体制で道路の安全と円滑な交通を守る

24時間365日の安全・安心を守るため、道路管制センターと交通管理隊が、24時間体制で道路上の各種設備や道路巡回により様々な情報を収集し、事故・落下物等への緊急対応やお客さまへの情報提供を行っています。



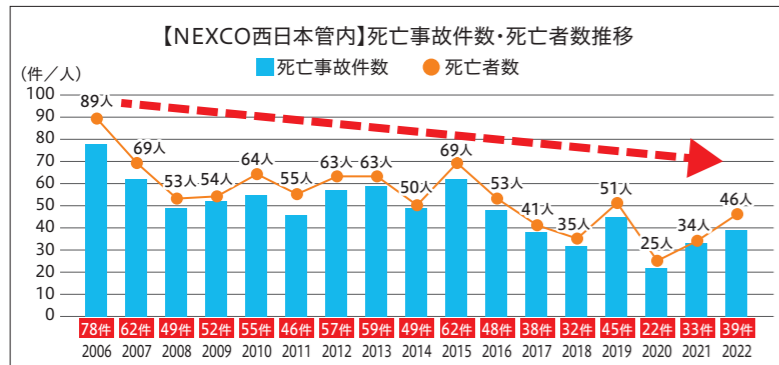
### ステークホルダーとともに築く交通安全

お客さまに安全・安心に高速道路をご利用いただくため、重大交通事故の削減と走行環境の改善につながる「ハード対策」とともに、交通安全キャンペーンや安全啓発リーフレットの提供、ポスターの掲出等、「ソフト対策」も重要な施策として取り組んでいます。

高速道路走行中に落下物等の道路異常を発見した際は、**道路緊急ダイヤル #9910**へ



交通管理隊員等が「高速道路の安全守り隊」と題してYouTubeでメッセージを配信中



死亡事故件数は徐々に減少していますが、未だ多くの尊い命が失われています。



中国道 加西SA交通事故防止キャンペーン

### SNDプロジェクト

#### —交通事故をゼロにするための危険運転撲滅プロジェクト—

当社と阪神高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、(株)エフエム大阪の4社共同で、高速道路での交通事故につながる「ながら運転」による危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すべく、「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT (通称SNDプロジェクト)」を推進しています。



SNDプロジェクトでは、ともに行動・応援していただけるサポーターを募集しています。「ながら運転」撲滅へのメッセージとサポーター登録はこちら



高松道 豊浜SA (上)にて、四国地域の中学・高校吹奏楽部9組による演奏会を開催し、「ながら運転」撲滅を呼びかけました。

### 正面衝突の防止

#### 暫定2車線区間への区画柵の設置

##### —長大橋梁・トンネルへの試行設置箇所を拡大—

重大事故につながりやすい暫定2車線区間での正面衝突防止対策として、ラバーポールに替えて区画柵の設置・検証を実施しています。

土工部・中小橋梁※1については、ワイヤロープを設置し、2022年度に概成しました。

長大橋梁※2及びトンネルについては、2021年秋に当社管内2カ所に試行設置した結果、一定の効果が確認されたため、試行設置を拡大し、更なる検証を実施しています。

※1中小橋梁：橋梁延長50m未満の橋梁

※2長大橋梁：橋梁延長50m以上の橋梁



(上) ワイヤロープ (中) センターブロック (下) センターパイプ



### 安全・安心で快適な走行環境の維持に向けて

点検業務及び補修計画の策定を担当しています。北九州エリアは、特に交通量が多く大型車の割合も高いことから、舗装の損傷が多く、安全・安心で快適な走行環境を維持するためには、迅速に補修する必要があります。

そのため、日常点検や道路巡回等から報告される日々の損傷報告の一元管理を行い、報告・補修方針・補修の進捗状況をリアルタイムに管理しています。損傷の数が多いため、管理には苦慮していますが、点検者と工事実施者と相談しながら補修の優先順位を策定し、工事の調整を行っています。

引き続き、お客さまに安全・安心で快適な走行環境を提供し続けられるよう、関係者と綿密な連携を取りながら、工事調整に努めてまいります。



九州支社 北九州高速道路事務所 保全計画第一課 高升 那女子

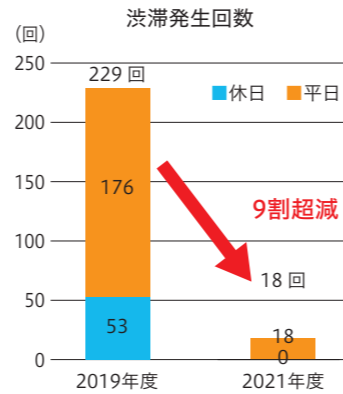
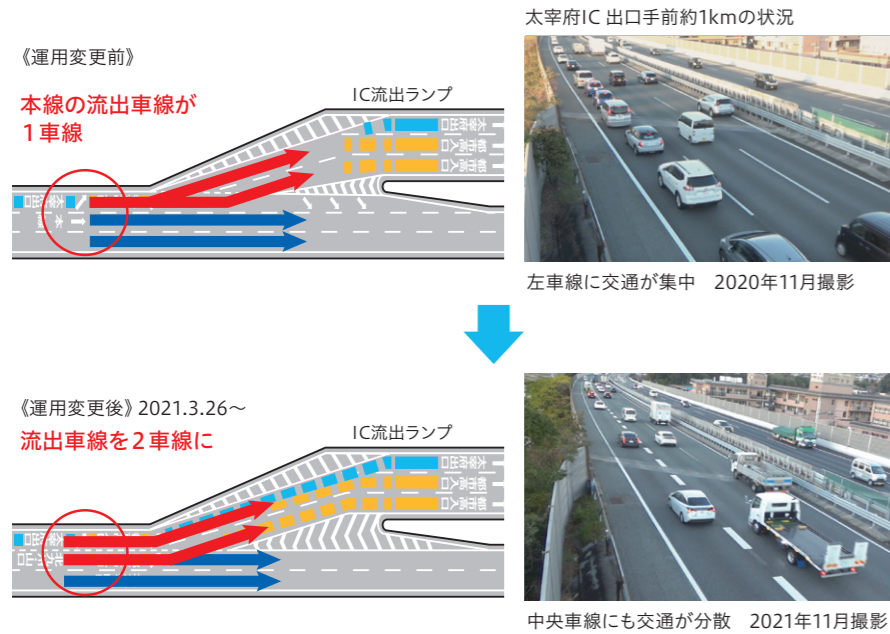




## ■ 渋滞対策

お客さまの快適な走行と交通安全のため、4車線化や車線運用の変更等のハード対策をはじめ、LED標識や情報板による速度低下の注意喚起、工事規制情報の広報等のソフト対策を推進しています。

### ハード対策例 九州道（上）太宰府ICの車線運用の変更



## ■ 逆走対策

高速道路での逆走は、死亡事故等の重大な事故につながる可能性が高く、逆走車両のみならず、正しく走行している車両も巻き込まれる極めて危険な行為です。これまで様々な対策を進めてきましたが、高齢化の進展や認知症問題の顕在化といった社会状況のもと、高速道路での逆走事故の撲滅には至っていないのが現状です。

当社では、「2029年までに逆走による重大事故ゼロ」を目指し、効果的な対策を見定め、高速道路での逆走事故の撲滅に取り組んでいます。



(上) 逆走車両に対する防眩板応用注意喚起  
(下) 一般道接続部のカラー舗装 (逆走・誤進入防止)

## ■ 降雪時の交通確保に向けて

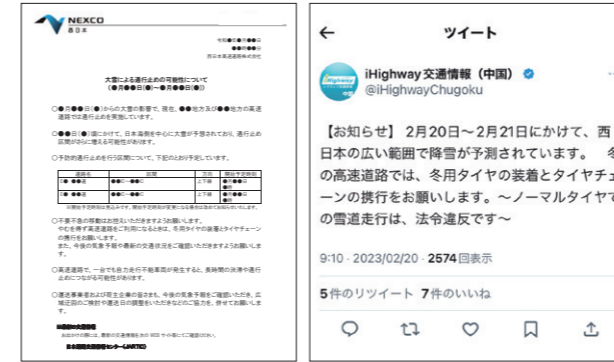
昨今の降雪による大規模な車両滞留の発生を踏まえ、冬期の交通確保のための方針を見直しました。

### 予防的通行止めの実施

車両の滞留が予測される場合や「大雪に関する緊急発表」が出された場合には、気象予測に応じて予防的通行止めを行い、集中除雪を実施します。

具体的には、通行止めになるような大雪等が予測されている時間の3時間前に予防的通行止めの実施判断をし、ウェブサイトやiHighway等で直ちにお知らせを行います。

併せて、除雪車や凍結防止剤散布車等の車両を応援派遣するなど、当社グループ総動員で体制を強化し、交通確保を行います。



予防的通行止め時の広報イメージ (ウェブサイトでのお知らせ、iHighway (Twitter))

**従来**

「自らが管理する道路を出るだけ通行止めしないこと」  
「出来るだけ通行止めせず高速道路と並行する国道等を交互に通行止めし道路ネットワークを確保すること」

**現在**

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」

※「大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ」2021年3月改訂 (冬期道路交通確保対策検討委員会)



降雪時の道路交通情報は、NEXCO西日本ウェブサイトまたはiHighwayをご確認ください

ウェブサイト

## 新名神高速道路での大雪時の渋滞による滞留車両発生への再発防止

2023年1月24日から26日にかけて、「10年に一度の寒波」により西日本の広い範囲で降雪があり、当社が管理する高速道路の半分強の区間で通行止めを余儀なくされ、新名神高速道路では渋滞による大規模な車両滞留が発生しました。この滞留については、通行止めのタイミング、お客さまへの情報提供や救済物資の支援、渋滞や滞留の解消まで長時間を要したことなど、中日本高速道路(株)とともに対応に課題があったと認識しています。

### 当面の対応策

今後は大規模な滞留が予測される場合は、その路線の担う役割の如何に関わらず、気象状況や道路状況等について関係機関と共有の上、「人命最優先」の基本的な考え方に基づき、徹底した出控え要請とともに、躊躇なく通行止めを実施します。

渋滞による滞留が発生した場合は、あらゆる媒体を活用して、きめ細かい情報提供に努めるほか、早い段階で関係機関へ情報共有し、関係機関からの応援を含め乗員保護体制を充実させるなど、今後の大雪時の対応に万全を尽くしてまいります。

